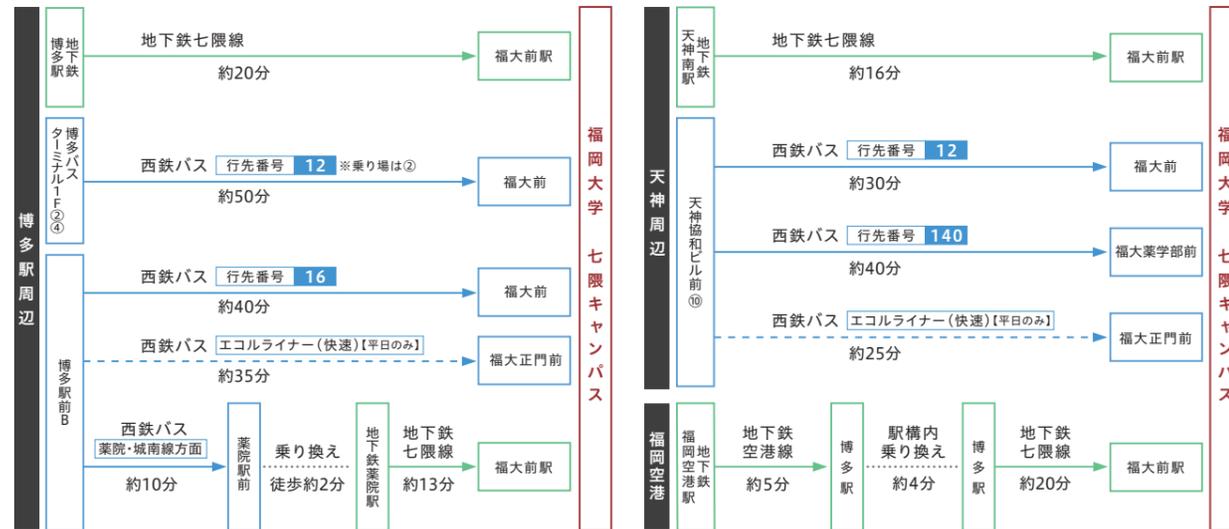


福岡大学アクセスマップ



交通案内



※時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。
 ※バスの行先番号が同じでも行先が異なることがありますので、バス正面の行先(経由地)をご確認ください。
 ※公共交通機関の運行状況に変更が生じる場合があります。最新の情報は、以下ウェブサイト等からご確認ください。
 ●地下鉄に関する情報……福岡市交通局 <https://subway.city.fukuoka.lg.jp/>
 ●バスに関する情報……西鉄バス <http://www.nishitetsu.jp/bus/>

[高速道路]
唐津方面からの場合
 西九州自動車道(福岡原道路)から都市高速道路環状線に入ります。野芥ランプで降りた後、福大トンネル出入口の手前を右折し、梅林中学校入口を左折します。500mほど直進した後、福岡大学病院東口交差点を直進します。
北九州および福岡県外(大分・熊本方面など)からの場合
 九州自動車道の太宰府IC(インターチェンジ)から都市高速道路に乗り、月隈JCT(ジャンクション)を左折します。堤ランプで降り、国道202号線(福岡外環状道路)を2kmほど直進して福大トンネル出入口手前から右折し、福岡大学病院東口交差点を右に入ります。



Faculty of Sports and Health Science

福岡大学 スポーツ科学部

- スポーツ科学科
- 健康運動科学科



Theory & Practice

文武合一 [理論知と実践知の融合]

スポーツと健康運動について、
実践と科学を学ぶ。

はじめに

スポーツ科学部は、スポーツ・体育・レクリエーション・レジャー・健康・福祉などを対象とする広範囲の学問の深化を図り、21世紀のウェルネス社会実現に向けて貢献し、スポーツ知を拓く学部として機能することを目的とし、スポーツ・体育・健康運動の自然科学・人文社会科学の知識に裏づけられた理論的指導ができる人材を育成します。

Contents 目次

| | |
|------------------------|----|
| 学部長メッセージ | 01 |
| スポーツ科学科 紹介 / 授業科目 | 02 |
| 健康運動科学科 紹介 / 授業科目 | 06 |
| 教員・研究の紹介 | 10 |
| スポーツ研究施設・設備の紹介 | 12 |
| クラブ活動 | 14 |
| 活躍する現役生 | 15 |
| 「スポーツ科学部」に入学したら? | 16 |
| スポーツ科学を極める! ~学部から大学院へ~ | 17 |
| トップアスリート紹介 | 18 |
| トップアスリートリスト | 19 |
| スポーツ科学部Q&A | 20 |

Three Policies 三つのポリシー

人材養成の目的「三つのポリシー」

- アドミッション・ポリシー (AP) (入学受け入れの方針)
- カリキュラム・ポリシー (CP) (教育課程編成・実施の方針)
- ディプロマ・ポリシー (DP) (学位授与の方針)

スポーツ科学部の詳細は以下のQRコードから(公式ウェブサイト)



Admission Policy アドミッション・ポリシー

- ① スポーツを日常的に実践している人
- ② スポーツや身体運動を対象に積極的に科学しようとする人
- ③ 競技スポーツにおけるパフォーマンスの向上を目指す人
- ④ 体育教員、スポーツコーチ、インストラクター、健康運動指導士などスポーツや健康全般にかかわる職種を目指そうとする人

Curriculum Policy カリキュラム・ポリシー

スポーツ科学部のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシー (DP) に示した人材を育成することを目的として編成されています。

そのためのカリキュラムとして、1年次より共通教育科目とともに基礎的な専門教育科目を配置し、学年が進むにしたがって学生個々の興味と関心に基づいて選択できる専門教育科目を多くしています。また、1年次から就職等の進路を視野に入れて意図的、計画的に専門教育を進めることができるように、一部選抜制を含む推奨コースを設定しています。さらに、実技科目や演習科目は、理論と実践を統合した教育を体系的に行うために、少人数のクラスによる双方向の授業形態を多くとっています。

スポーツ科学科は、自らが専門とするスポーツ種目の技能およびスポーツ全般にわたる科学的指導能力の向上を、また健康運動科学科は、健康運動・レクリエーションの科学的基礎知識に基づく実践・指導能力の習得をそれぞれねらいとし、各学科の特性にあったカリキュラムを編成しています。

Diploma Policy ディプロマ・ポリシー

スポーツ科学部の教育課程においては、以下に掲げる能力を備え、厳格な成績評価のもとで所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

- ① スポーツや運動全般の科学的指導能力を備えている。
- ② 専門とするスポーツ・運動の高い技能と指導能力を備えている。
- ③ スポーツ・運動の医学的知識に基づく卒業論文作成能力を備えている。
- ④ スポーツ・運動を通じて得られた社会や職業活動に必要なコミュニケーション能力、課題解決力、倫理的思考力を備えている。
- ⑤ 人文科学、社会科学、自然科学および外国語の幅広い知識と教養を身につけている。

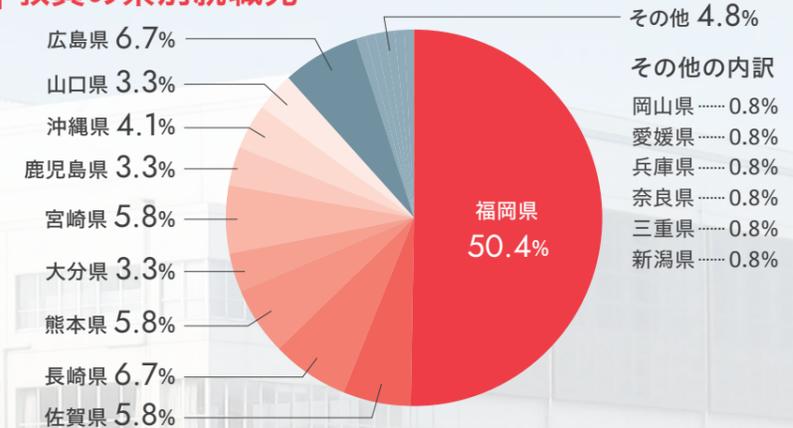
卒業生の約2割、121人*が教員に。

※2021～2023年度の実績

福岡県内はもとより、
西日本の各地で活躍しています。

2023年度の
教員免許状取得者数実績 **104人**

教員の県別就職先



Message 学部長メッセージ

スポーツ科学を学び、スポーツと健康の エキスパートとして社会に貢献する人財へ



スポーツ科学部長 檜垣 靖樹 HIGAKI Yasuki

スポーツ科学は、スポーツを基軸とし多角的な視点から研究する学問と言えます。それらの学問には、心理学や生理学といった自然科学的な領域から教育学や社会学といった人文・社会学的な領域が含まれ、領域横断型の学びを実現することができます。

スポーツ科学部は、スポーツ科学科と健康運動科学科の2つの学科から構成されています。それぞれの学科には、目指す将来像を見据えて多様なコースを準備しています。今、目標に向かって勉強している在学生の声、そして目標を達成し社会で活躍する卒業生の声の欄を読んでください。あなたの夢を実現する理想的なモデルとなる先輩がいるのではないのでしょうか。

現在、人生100年時代に向けて、ひとりの人間として全人的に成長し続ける“ちから”を身につけることが求められています。スポーツには、その“ちから”を育むための様々な要素が含まれています。例えば、自身の限界に挑戦したい、挑戦している人を支えたい、トレーニングの理論や健康づくりの理論を深く学びたい、スポーツや健康に係る課題を解決したい、などの目的を達成する過程で、新たな知識、洗練されたスキル、積極的な態度を身につけることができます。

スポーツの理論と実践を通じて、新たな価値を創造して社会から求められる人に、そして貢献する人財になることを期待しています。

スポーツ科学科

Department of Sports Science

スポーツ科学を学び、
競技能力アップに応用。
ハイレベルなアスリートや
指導者を目指す。

スポーツ科学科が注力しているのは実践(選手活動)を通じてスポーツ科学の専門知識を学び、それを競技能力の向上に応用すること。同時に、その過程から科学的なトレーニング法やテクニックの開発法、発達に応じた指導法といったコーチングから施設や用具の開発、マネジメントに至るまで、スポーツに関わる専門技能を広く修得することです。また、学生相互の切磋琢磨や充実した環境を生かして、プロや国際レベルでの活躍が目指せるのも本学科ならではの強みです。

取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許
- 社会教育主事
- コーチ
- ジュニアスポーツ指導員
- スポーツプログラマー など

福岡大学 スポーツ科学部 Webサイト >



求める人材像(求める能力)

| | |
|--------------------|--|
| A 知識・理解 | 競技スポーツを科学的に捉えるための基礎学力を有している人 |
| B 技能 | 競技スポーツの経験を有し、競技力向上のために科学的に課題を分析できる人 |
| C 態度・志向性 | スポーツの場面以外でも、スポーツの精神を体現化し、スポーツの素晴らしさを伝えたいと考える人 |
| D その他の能力・資質 | 学校生活全般でリーダーシップ・コミュニケーション能力を発揮した人や英語資格の取得等に努めた人 |

求める人材像
(求める能力)
の詳細は

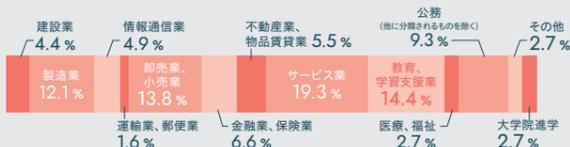


スポーツ科学科での4年間

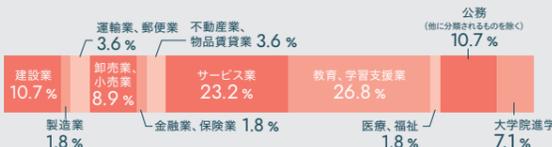
| 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 卒業後 |
|---|--|--|---|--|
| 基礎 | 実践 | 卒業研究 | 卒業研究 | 国際レベルでの活躍を目指す トップアスリートや プロ選手へ スポーツの指導者や研究者へ |
| 自分の競技種目から他の種目にも視野を広げ、スポーツ全般に関する基礎理論とコーチング理論を修得する。 | 1年次で修得した理論をベースに、トレーニングやコーチングを主としたスポーツ科学について実践的に学ぶ。 | スポーツ科学の研究を意識し、専門とする競技の実践(選手活動)と高度な理論学習の双方から取り組む。 | これまでの競技実践や理論学習をベースに「卒業研究論文」をまとめ、4年間の集大成とする。 | |

就職情報(その1) | スポーツ科学部の主な就職・進路先(業種別) [2023年度卒業生実績]

スポーツ科学科



健康運動科学科



在学生の声

最新のスポーツ科学を学び競技力アップを目指す。
全国でも指折りの充実した環境。

Q1 この学科の魅力は？

さまざまな角度からスポーツについて学び、競技力の向上に生かされます。また、全国トップクラスの実力を持つ仲間がいるため、自分の専門種目以外についての知識や技術を高め合うこともできます。レベルの高い授業や充実した設備環境が用意されていて、最新のスポーツ科学に触れながらアスリートやトレーナー、教員などを目指せます。

Q2 好きな授業は？

「スポーツバイオメカニクス及び運動学実験」では、「歩く」や「走る」など日常的な動きを定量化し、データをもとに優れたスポーツ動作の力学的背景について比較、考察します。科学的根拠を知ることによって競技力が向上し、仲間と切磋琢磨する過程は自分の成長にもつながりました。運動をするだけでなく、探究する楽しさも知ることができました。



倉本 幸太さん

スポーツ科学部 スポーツ科学科 3年次生
福岡県 福岡高校出身

※2023年取材時の情報です。

時間割 [3年次前期](例)

| | MON | TUE | WED | THU | FRI |
|-------|----------------|------------|----------|-------------------------|--------------------|
| 9:00 | | 保健体育教職演習 I | | スポーツバイオメカニクス 及び運動学実験 | インターメディアート・イングリッシュ |
| 10:40 | | 保健体育科教育法Ⅲ | | | 公衆衛生学(含衛生学) |
| 13:00 | | | 教育方法論 | | バドミントン |
| 14:40 | 生徒指導論(進路指導を含む) | | スポーツ科学演習 | | |
| 16:20 | | | | | |

その他カリキュラムの詳細は >



卒業生の声

実習での経験を教育現場にフル活用。
一人一人に向き合える教員を目指す。



青戸 真実さん (2023年卒業)

福岡市立次郎丸中学校

※2023年取材時の情報です。

子どもが好きで、高校生の頃から教職に憧れていたため、本学科を目指しました。「教職事前実習」では他学部のスポーツ演習の授業に行き、自分で授業を組み立てて実際に指導をします。レベル別にチームを分けたり、臨機応変に授業の内容を変化させたりと、スポーツが得意ではない生徒に対しての手立てを考えられ、より現場に近い状態で学びが得られました。現在は、特別支援学級で体育の授業を担当しています。生徒たちの状態に合わせて柔軟に対応する心構えは、間違いなくこの時の実習によって得られたものだと思っています。

全国からスポーツのスペシャリストが集まり、トップレベルの選手に出会ったり刺激を受けたりと、他にはない経験ができるのも特徴です。各分野を極め

た経験豊富な先生方がいるので、自分が目指したい専門領域に必ず出会えると思います。



授業科目

| | | 1年次授業科目 | 2年次授業科目 | 3年次授業科目 | 4年次授業科目 | | |
|---|--|---|---|--|---|---|--|
| 専門教育科目 <small>学科別だけでなく将来の自分の進路にあわせた授業の選択ができるように より細分化を図り、社会での実践力を高めるための履修モデルです。</small> | 必修科目 | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ心理学 ○コーチ学総論 ○陸上競技I ○体づくり運動I | <ul style="list-style-type: none"> ○器械運動I ○フレッシュマンセミナーI,II | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ生理学 ○スポーツバイオメカニクス ○スポーツ整形外科学 ○ステップアップセミナー | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ社会学 ○スポーツ哲学 ○水泳I | <ul style="list-style-type: none"> ○卒業研究論文 | |
| | 選択必修科目 | | <ul style="list-style-type: none"> ○バレーボールI ○バスケットボールI ○ハンドボールI ○サッカーI ○柔道I ○剣道I ○ラグビーI ○スキー ○キャンプ | <ul style="list-style-type: none"> ○アクアスポーツ | <ul style="list-style-type: none"> ○スケート ○陸上競技II ○体づくり運動II ○器械運動II ○水泳II ○柔道II ○剣道II ○ラグビーII ○サッカーII | <ul style="list-style-type: none"> ○ハンドボールII ○バレーボールII ○バスケットボールII ○卓球 ○ゴルフ ○テニス ○パドミントン ○レスリング | |
| | アスリート・コーチコース推奨科目群 2年次に「ピークパフォーマンス演習I」、3年次には「トップアスリートコーチ論」「ピークパフォーマンス演習II」を履修し、海外・国内研修を行うことができる | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ方法学 ○解剖生理学 ○体力学 ○スポーツ栄養学 | <ul style="list-style-type: none"> ○ピークパフォーマンス演習I ○発育発達老化 ○スポーツ内科学 ○スポーツ測定評価 ○コーチ法演習 | <ul style="list-style-type: none"> ●ピークパフォーマンス演習II ●トップアスリートコーチ論 ○コーチ法実習 | <ul style="list-style-type: none"> ○メンタルマネジメント | | |
| | トレーナーコース推奨科目群 日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者資格(JATI-ATI)の取得を目指す者や、全国体育スポーツ系大学協議会認定スポーツトレーナー(JPSU-ST)の取得を目指す者が選択し、3年次に「スポーツトレーナー実習」を優先的に履修できる | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツマッサージ ○スポーツトレーニング概論 ○スポーツ方法学 ○解剖生理学 ○体力学 ○テーピング理論及び実習 | <ul style="list-style-type: none"> ○ウェイトトレーニング演習 ○スポーツ栄養学 | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ経営管理学 ○スポーツ情報処理実習 ○スポーツ内科学 ○スポーツ測定評価 ○スポーツトレーナー概論 ○身体コンディショニング論 | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツトレーナー実習 ○アスレチックリハビリテーション | <ul style="list-style-type: none"> ○メンタルマネジメント | |
| | 保健体育教員コース推奨科目群 ※このコースには人数制限があるが、教職課程科目の単位を修得することで教員免許状の取得が可能。 スポーツ科学科の特徴を理解し、教員採用試験を必ず受験する者が志望できる 3年次前期「保健体育教職演習I」、4年次前期「保健体育教職演習II」を受講できる 春期・夏期の勉強会の開催および『保健体育科教員を目指す学生のために』の冊子を配布する | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ史 ○スポーツ方法学 ○ダンス ○体力学 | <ul style="list-style-type: none"> ○保健体育科教育法I,II ○発育発達老化 ○スポーツ情報処理実習 ○スポーツ運動学 | <ul style="list-style-type: none"> ○保健体育科教育法III,IV ○学校保健 ○公衆衛生学(含衛生学) ○教職事前実習 | <ul style="list-style-type: none"> ●保健体育教職演習I ○学校体育経営管理学 ○保健教材演習 | <ul style="list-style-type: none"> ●保健体育教職演習II | |
| | 生涯スポーツ教育コース推奨科目群 スポーツ科学科の特色を活かし、スポーツ産業分野や、野外教育・レクリエーション分野、障がい者スポーツ指導分野の専門的学びが可能となる | <ul style="list-style-type: none"> ○生涯スポーツ論 | <ul style="list-style-type: none"> ○レジャー・レクリエーション総論 ○野外教育概論 | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ産業論 ○スポーツマーケティング論 ○社会調査実習 ○アダプテッドスポーツ演習 ○スポーツコミュニケーション論 | | | |
| | コース共通科目群 スポーツ科学科の特色を踏まえ、実技科目やスポーツ科学科目を履修する | | <ul style="list-style-type: none"> ○団体指導 ○スポーツ統計学 | <ul style="list-style-type: none"> ○コーチ哲学 ○スポーツメディア論 ○スポーツバイオメカニクス及び運動学実験 ○スポーツ心理学実験 ○スポーツ生理学実験 ○球技論 ○柔道論 | <ul style="list-style-type: none"> ○剣道論 ○陸上競技論 ○ダンス論 ○水泳論 ○体づくり・器械運動論 ○基礎防災学 ○スポーツ行政論 | | |
| 共通教育科目 | <ul style="list-style-type: none"> ○総合教養科目 ○外国語科目 ○保健体育科目 | | | | | | |

※●印は当該コースの学生のみが履修できる

健康運動科学科

Department of Health and Exercise Science

運動と健康に関する分野を科学的・実践的に学び、第一線で活躍する研究者や指導者への道を開く。

健康運動科学科では学生自身がスポーツとレクリエーションを実践しながら、心身の健康維持や増進、回復の理論と技術を学びます。スポーツ科学科と比較した場合、「運動による心身の健康づくり」を重視しているところが特長です。生活に密接な運動と健康づくりを科学的に学習すると同時に、現場での実習や企業・地域公共施設と連携した実務教育を展開。スポーツ医科学や生涯スポーツの最前線で活躍するハイレベルな研究者や指導者を育成します。

取得可能な主な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許
- 社会教育主事
- 健康運動指導士
- 健康運動実践指導者
- 野外教育・レクリエーション指導者
- スポーツプログラマー など

福岡大学 スポーツ科学部 Webサイト >



求める人材像(求める能力)

| | |
|--------------------|--|
| A 知識・理解 | 生涯スポーツを科学的に捉えるための基礎学力を有している人 |
| B 技能 | 生涯スポーツの経験を有し、健康の回復や増進について科学的に分析できる人 |
| C 態度・志向性 | スポーツの場面以外でも、スポーツの精神を体現化し、スポーツの素晴らしさを伝えたいと考える人 |
| D その他の能力・資質 | 学校生活全般でリーダーシップ・コミュニケーション能力を発揮した人や英語資格の取得等に努めた人 |

求める人材像(求める能力)の詳細は



健康運動科学科での4年間

| 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 卒業後 |
|--|-------------------------------------|--|---|---------------------------|
| 基礎 | 実践 | 卒業研究 | 卒業研究 | 卒業後 |
| 心身の健康維持や増進、回復の理論と技術に関する基礎理論を着実に修得していく。 | 健康づくり・野外教育・レクリエーションに関する知識と理論、技術を学ぶ。 | 運動療法や健康づくりの指導、野外教育・レクリエーションの指導などの演習・実習に取り組む。 | これまでの実践や理論学習をベースに「卒業研究論文」をまとめ、4年間の集大成とする。 | レクリエーションや健康運動に関する研究者や指導者へ |

就職情報(その2) スポーツ科学部の主な就職・進路先(企業名別) [2021年度~2023年度]

| | | | | | | |
|---|---|---|---|--|---|---|
| 建設業 セキスイハイム九州(株) 大和ハウス工業(株) (株)九電工 大成建設(株) (株)竹中工務店 | 霧島酒造(株) コカ・コーラボトラーズジャパン(株) (株)クリナップ パラマウントベッド(株) YKK AP(株) 電気・ガス・熱供給・水道業 九州電力(株) | 情報通信業 (株)NTTドコモ (株)QTnet (株)大分放送 | リコージャパン(株) (株)あらた (株)良品計画 (株)博多大丸 | 宿泊業、飲食サービス業 (株)星野リゾート 日清医療食品(株) | 教育、学習支援業 福岡県教員(小学校) 広島県教員(中学校) 福岡県教員(中学校) 福岡県教員(高校) 宮崎県教員(高校) 公務(他に分類されるものを除く) 法務省専門職員(人間科学) 刑務官 山口県庁 | 愛媛県庁 福岡市役所 佐賀市役所 長崎市役所 警視庁 福岡県警察本部 東京消防庁 福岡市消防局 |
| 製造業 SMC(株) ミネベアミツミ(株) TOPPAN(株) | 卸売業、小売業 (株)キシヤ | 金融業、保険業 (株)西日本シティ銀行 (株)福岡銀行 楽天証券(株) 住友生命保険相互会社 日本生命保険相互会社 | 生活関連サービス業、娯楽業 (株)Plan・Do・See コナミススポーツ(株) (株)JTB | など | | |

在学生の声

運動時の人体のメカニズムを理解して多様なアプローチができる健康運動指導士に。

Q1 この学科の魅力は？

運動やスポーツという一つの行動に対して、生理学や心理学などさまざまな観点から健康維持や増進、ケア・回復について学びます。幅広いアプローチを考えるなかで、実施者としてだけでなく指導者の視点を持つことの大切さを知りました。また、授業には実技も多く、苦手な種目でも得意な人に助けてもらいながら楽しめます。

Q2 好きな授業は？

「スポーツ生理学実験」は、運動時、体内で起きている変化を自らが検者・被検者となり実験します。体脂肪率を求める実験では、グループに分かれ、頭まで水に沈んだときの「水中体重」を測定しました。メンバー同士で測定機器を使いながら評価をすることで、より正確で被検者に負担の少ない方法で実施でき、測定方法や原理の理解につながりました。



田代 梨紗さん

スポーツ科学部 健康運動科学科 3年次生
福岡県 福岡雙葉高校出身

※2023年取材時の情報です。

時間割 [3年次前期](例)

| | MON | TUE | WED | THU | FRI |
|-------|-----|----------------------|----------|-----------|--------------------|
| 9:00 | | | | スポーツ生理学実験 | インターミディエイト・イングリッシュ |
| 10:40 | | | 教育相談 | | 公衆衛生学(含衛生学) |
| 13:00 | | 卓球 | 教育方法論 | | エアロビックエクササイズ |
| 14:40 | | 運動療法・地方(含むリハビリテーション) | スポーツ科学演習 | | |
| 16:20 | | | | | |

その他カリキュラムの詳細は >



卒業生の声

実習や研究活動の積み重ねが指導スタイルの確立と自信につながった。



本田 紘基さん (2019年卒業)

博愛会病院 健診センター

スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻 博士課程前期 (2021年修了)

※2023年取材時の情報です。

「健康運動指導士」という資格を取得し、通所リハビリ施設で要支援・要介護に認定された高齢者に運動指導をしています。指導する相手は一人一人状態やその日の体調が異なるため、コミュニケーション能力と洞察力が欠かせません。指導内容はもちろんのこと、「どう伝えるのか」は指導者の腕の見せ所です。話し方や身振り手振りなど、指導方法によって個人の色をしっかりと出せるのがこの仕事の魅力でもあります。

運動指導のスタイルを確立する上で重要なのは、現場に出た回数です。在学中、実習や研究活動を通して医療介護の現場に赴き、数多くの経験を積めたことで仕事への自信が持てました。こうした実践を糧にできたのは、在籍する著名な先生方や

優しい先輩方のおかげです。卒業生が多数いることも本学科の強みであり、私自身もその人脈が今の仕事につながっています。



授業科目

| | | 1年次授業科目 | 2年次授業科目 | 3年次授業科目 | 4年次授業科目 |
|---|--|--|--|--|--|
| 専門教育科目 学科別だけでなく、将来の自分の進路にあわせた授業の選択ができるように、より細分化を図り、社会での実践力を高めるための履修モデルです。 | 必修科目 | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ心理学 ○生涯スポーツ論 ○体力学 ○体づくり運動I ○ダンス ○フレッシュマンセミナーI,II | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ内科学 ○スポーツ生理学 ○レジャー・レクリエーション総論 ○スポーツ社会学 ○健康スポーツ論 ○キャンプI ○ステップアップセミナー | <ul style="list-style-type: none"> ○健康スポーツ演習 ○スポーツ科学演習 | <ul style="list-style-type: none"> ○卒業研究論文 |
| | 選択必修科目 | | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ整形外科学 ○健康運動器外科学 | | |
| | 健康運動指導者コース推奨科目群 健康運動実践指導者と健康運動指導士の資格を取りたい者が志望できる 「試験対策講座」として、3年次後期に「健康運動指導演習I」を受講し、4年次前期に「健康運動指導演習II」を履修することができる | <ul style="list-style-type: none"> ○解剖生理学I,II ○ウェイトトレーニング演習 | <ul style="list-style-type: none"> ○健康スポーツ心理学 ○身体コンディショニング論 ○水泳I ○運動栄養学 ○スポーツバイオメカニクス | <ul style="list-style-type: none"> ○水泳II ○運動療法・処方(含むリハビリテーション) ○公衆衛生学(含衛生学) ○フィットネス実習 ○エアロビックエクササイズ ●健康運動指導演習I | <ul style="list-style-type: none"> ●健康運動指導演習II ○運動療法実習 |
| | 保健体育教員コース推奨科目群 ※このコースには人数制限があるが、教職課程科目の単位を修得することで教員免許状の取得が可能。 健康運動科学科の特徴を理解し、教員採用試験を必ず受験する者が志望できる 3年次前期「保健体育教職演習I」、4年次前期「保健体育教職演習II」を受講できる 春期・夏期の勉強会の開催および「保健体育科教員を目指す学生のために」の冊子を配布する | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ史 ○スポーツ方法学 | <ul style="list-style-type: none"> ○保健体育科教育法I,II ○発育発達老化 ○水泳I ○スポーツ情報処理実習 ○スポーツ運動学 | <ul style="list-style-type: none"> ○保健体育科教育法III,IV ○学校保健 ○公衆衛生学(含衛生学) ○教職事前実習 ●保健体育教職演習I | <ul style="list-style-type: none"> ○学校体育経営管理学 ○保健教材演習 ●保健体育教職演習II |
| | 生涯スポーツ教育コース推奨科目群 健康運動科学科の特色を生かし、スポーツ産業分野や、野外教育・レクリエーション分野、障がい者スポーツ指導分野の専門的学びが可能となる | | <ul style="list-style-type: none"> ○健康スポーツ経済学 ○健康スポーツ心理学 ○野外教育概論 | <ul style="list-style-type: none"> ○レクリエーション演習I,II ○スポーツ産業論 ○スポーツマーケティング論 ○社会調査実習 ○野外教育・レクリエーション支援論 | <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉論 ○アダプテッドスポーツ演習 ○キャンプII |
| コース共通科目群 健康運動科学科の特色を踏まえ、健康スポーツ関連科目や実技科目を履修する | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ栄養学 ○陸上競技I ○器械運動I | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ経営管理学 ○スポーツ統計学 ○スポーツ生化学 ○スポーツ哲学 ○団体指導 ○バスケットボールI ○バレーボールI ○ハンドボールI | <ul style="list-style-type: none"> ○サッカーI ○ラグビーI ○柔道I ○剣道I ○スキー ○アクアスポーツ | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツコミュニケーション論 ○生涯スポーツ実習 ○スポーツ行政論 ○スポーツバイオメカニクス及び運動学実験 ○スポーツ心理学実験 ○スポーツ生理学実験 | <ul style="list-style-type: none"> ○スケート ○テニス ○卓球 ○体づくり運動II ○バドミントン ○レスリング ○ゴルフ ○基礎防災学 |
| 共通教育科目 | <ul style="list-style-type: none"> ○総合教養科目 ○外国語科目 ○保健体育科目 | | | | |

※●印は当該コースの学生のみが履修できる

教員・研究の紹介

スポーツ科学部に所属している教員をご紹介します。
※2024年4月1日現在

教員からのメッセージや詳細はこちら



青柳 領 教授

専門分野
「幼児の発育発達」
「スポーツ計量論」
幼児の運動能力・体力に関する研究。特に、高度な統計的手法を用いるのが特徴。最近では、項目応答理論を用いた幼児の基礎運動能力評価法の開発を試みている。



柿山 哲治 教授

専門分野
「保健体育科教育」
(1)教育活動では、中学校および高等学校における実践能力の高い保健体育教員養成を行っています。
(2)研究活動では、バスケットボール移入におけるアメリカ人女性宣教師の貢献と役割について調査を行っています。



下園 博信 教授

専門分野
「スポーツ心理学」
「スポーツ行動科学」
(1)スポーツ心理学分野での認知・知覚に関する研究。
(2)ラグビーを主としたコーチング方法、ゲーム分析法の研究。
(3)スポーツ心理学的な観点でのコーチング研究。



乾 真寛 教授

専門分野
「サッカー」「コーチ学」
「指導法」「ゲーム分析」
主にサッカーコーチングの領域で、世界及び日本のトップレベルのコーチング法や育成システムの研究、開発、年令に応じた一貫指導プログラムの研究と指導者育成。



片峯 隆 教授

専門分野
「コーチ学」
「運動学」
「スポーツバイオメカニクス」
陸上競技に関するコーチング学及び科学的分析による研究・教育。



田口 晴康 教授

専門分野
「体操競技」「器械運動」
「スポーツ運動学」
学校体育における器械運動の指導法および体操競技の技の分析について、スポーツ運動学的視点から教育・研究をすすめている。



上原 吉就 教授

専門分野
「循環器内科学」
「スポーツ医学」「予防医学」
生活習慣病、動脈硬化関連疾患の先進治療・予防に関して研究している。心機能低下者への運動の有益性やアスリートへのパフォーマンス向上を探索している。また、善玉コレステロールであるHDLの骨格筋への作用や人工HDLの開発を行っている。



川中 健太郎 教授

専門分野
「スポーツ栄養学」「スポーツ生化学」
「分子運動栄養学」
運動することで体力向上(スポーツ競技成績を含む)ならびに健康増進効果が引き起こされる。さらに、運動効果は食事・栄養によって影響される。これらの現象と仕組みについて、生理学・生化学・分子生物学の手法を用いて研究することで、効果的な運動・食事処方を考案することを目標とする。現在は、糖尿病や認知症との関連が深い骨格筋や脳の代謝機能をターゲットにしている。



田中 守 教授

専門分野
「体力学」「トレーニング学」
「スポーツ生理学」
「ハンドボール」
競技スポーツの体力学・運動生理学研究を行っている。ハンドボールの技術・戦術研究も行っている。共同研究として健康づくりのための運動処方研究にも関わっている。



梅田 保人 教授

専門分野
「保健体育科教育学」
学校教育活動の中で、保健体育科が果たす役割について研究を行い、実践的な能力を有した保健体育科教員の養成を行っている。



小牟礼 育夫 教授

専門分野
「スポーツ方法学」
「バスケットボール」
(1)対象、成績目標、様相に応じた指導計画、指導内容、具体的指導法。
(2)現場での効果的な指導につながるゲーム分析。
(3)スキルアップのための映像活用。



築山 泰典 教授

専門分野
「野外教育」
「レクリエーション」
ウェルネス向上を目的とした野外教育・レクリエーションの実践・研究。



柿本 真弓 教授

専門分野
「体づくり運動」
「新体操競技」
(1)体づくり運動、新体操に関する研究。
(2)高齢者における体操の効果に関する研究。



重森 裕 教授

専門分野
「スポーツ医学」
「スポーツ脳神経外傷」
各種スポーツによって生じる脳神経外傷の予防に関する研究を行っている。また、脳卒中や外傷により生じた後遺症に対するより良いリハビリテーション、スポーツについて研究している。



布目 寛幸 教授

専門分野
「スポーツバイオメカニクス」
優れたスポーツ動作の背景にあるダイナミクス(動力学)の探求。



野口 安忠 教授

専門分野
「コーチ学」
「スポーツ方法学」
「陸上競技」
陸上競技に関するコーチ学を中心に、実践研究をする。特に、投てきにおける指導法の研究・教育。



山口 幸生 教授

専門分野
「運動心理学」
「行動科学」
主に運動・スポーツ心理学の領域で、行動科学にもとづく効果的な身体活動促進プログラム開発やその有効性に関する研究に従事。ITを活用した健康づくりシステムの開発や市町村と共同でヘルスプランティアの養成なども実施。



信岡 沙希重 准教授

専門分野
「陸上競技」
「スポーツコーチング」
陸上競技、特に短距離に関するコーチング学を中心に競技力向上のための実践的研究を行っている。また児童を対象とした疾患能力の研究も進めており、トレーニングプログラムの考案に取り組んでいる。



檜垣 靖樹 教授

専門分野
「運動生理学」
「健康科学」「予防医学」
(1)生活習慣病予防と身体活動・運動に関する生理・生化学研究及び分子疫学研究。
(2)運動による骨格筋の糖取り込み促進機序の解明。
(3)身体活動(運動トレーニング)の効果左右する遺伝素因の探求。



吉村 一郎 教授

専門分野
「スポーツ整形外科」
「足(足関節)の外科」
スポーツ整形外科とはスポーツによって生じるスポーツ傷害(外傷・障害)の予防と早期復帰を目指すものである。特に足部・足関節におけるスポーツ傷害の治療および予防について研究を行っている。



神田 智浩 講師

専門分野
「体育学」
「剣道コーチング」
剣道の競技力向上および普及発展を目的とした研究、また、剣道を主としたコーチング法の研究を行っている。



藤井 雅人 教授

専門分野
「スポーツ社会学」
「スポーツ教育学」
特にドイツの青少年スポーツに関する研究知見を基に、現代社会の変化がスポーツにどのような影響を及ぼしているのか、そして具体的なスポーツシステムの構築・展開はどのようになされるべきであるかを研究している。



米沢 利広 教授

専門分野
「バレーボール」
「スポーツ方法学」
スポーツコーチングの効果的な指導方法に関する研究。特に、バレーボールのコーチングにおいては、科学的アプローチ方法と実践的教育・研究を行っている。



霜島 広樹 講師

専門分野
「スポーツマネジメント」
「スポーツマーケティング」「テニス」
(1)スポーツ消費者(実施者・観戦者)における行動メカニズムの解明。
(2)民間スポーツクラブやプロスポーツクラブにおけるマネジメント方策の探求。
(3)スポーツイベントの開催が及ぼす効果・インパクトに関する研究。



今村 律子 准教授

専門分野
「保健体育科教育学」
実践的能力を有した保健体育教員の養成。また、体育教員の運動指導時における視線解析や、脳の視覚情報処理から見た運動制御の解明を試みている。



渡邊 正和 講師

専門分野
「スポーツバイオメカニクス」
「コーチ学」
「硬式野球」
野球に関するバイオメカニクスの分析に関する研究。競技パフォーマンスの向上に関する指導及び研究。



道下 竜馬 教授

専門分野
「運動生理学」
「運動療法・処方」「予防医学」
健康づくりや疾病予防のための体力・運動、身体活動に関する生理学的、疫学的研究、特に運動トレーニングによる動脈硬化や慢性腎臓病の改善効果ならびに機序解明に関する研究、疾病予防を目的とした運動・身体活動のコホート研究を行っている。



村上 純 教授

専門分野
「スポーツ方法学」
「コーチ学」「ラグビー」
コーチングに関わる科学的な根拠の研究を中心に行っている。具体的には、コーチング現場に必要とされる技術分析、方法学、トレーニング方法の改善と開発、ゲーム分析に関する研究に従事している。また、ラグビーのコーチ養成も実施している。



坂本 道人 准教授

専門分野
「柔道」
「コーチ学」
(1)柔道に関するコーチング学。
(2)競技力向上のための実践的研究と教育を主な研究テーマとしている。



森口 哲史 教授

専門分野
「公衆衛生学」
「スポーツ鍼灸」
「ハンドボール」
(1)環境変化の生体影響・物理刺激の生体影響に関する研究。
(2)ハンドボール選手の体力特性に関する研究。
(3)スポーツ選手の傷害に関する研究。



田場 昭一郎 准教授

専門分野
「競泳」
「コーチ学」
(1)競泳に関するコーチング学。
(2)競技力向上のための実践的研究と教育。



スポーツ研究施設・設備の紹介

総合体育館
(2017年2月竣工)

総合体育館は、4階建ての多機能なスポーツ施設です。武道練習場(柔道・剣道・合気道)や球技練習場(卓球・バスケットボール・バレーボール・バドミントン)は、国際規格に準じた広さや配色を採用しています。



バスケットボール練習場



バレーボール練習場



柔道場



**メディカル
フィットネス
センター**

(福岡大学病院内)



陸上競技場



国内の大学ではトップクラスの競技場。トラックは全天候型で1周400m×8レーン。砲丸投げ、やり投げ、ハンマー投げ、円盤投げ、走り高跳び、三段跳び、棒高跳びの施設、写真判定室や夜間照明、1,036席の屋根つき観客席などを備えています。

野球場

2014年に両翼100m、中堅122m、内外野人工芝の新しい野球場が完成しました。ダッグアウトにはロッカールーム、シャワールーム、シングルルームを備えています。



サッカー場

FIFA(国際サッカー連盟)に認定されたサッカー場です。新技術で都市型水害の軽減、ヒートアイランド現象制御効果も期待されます。



第二記念会堂
[外観]



鉄筋の4階建てで、3,600㎡のメインフロアに約1万人を収容することが可能です。

第二記念会堂 [室内]



実験風景



ラグビー場

九州の大学では初の人工芝ラグビー場。芝生総面積12,850㎡、観客席設置。九州ラグビー協会主催公式戦にも活用します。



プール
(2021年2月竣工)

室内50m(長水路)の新築されたプールです。隣接するサッカー場の観客席やテラスも備えています。



クラブ活動

その他の 福岡大学 クラブ活動 はこちら >



学生の自主的活動によって、豊かな人間性を育成する部活動は、大学における教育の一環として重要な意味を持っています。福岡大学の体育部会は、45部1同好会を擁し、各大会などで優秀な成績を収めています。その一部を紹介いたします。



陸上競技部



体操競技部



水泳部



新体操競技部



柔道部



剣道部



なぎなた部



バスケットボール部



バレーボール部



ハンドボール部



サッカー部



ラグビー部



バドミントン部



卓球部



庭球部



ソフトテニス部



ソフトボール部



野球部

活躍する現役生

陸上競技



これまでの成績

- U20日本選手権優勝
- 日本インカレ優勝
- U20日本最高記録樹立 砲丸投げ7.26kg
- 2022日本学生陸上競技個人選手権大会 男子砲丸投げ 第1位
- 第106回日本陸上競技選手権大会 男子砲丸投げ 第2位
- 第91回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子砲丸投げ 第2位
- Athletics Challenge Cup 2022 男子砲丸投げ 第2位
- 第26回南部忠平記念陸上競技大会 男子砲丸投げ 第1位
- 第29回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子砲丸投げ 第1位
- アジア陸上選手権大会 第2位

アツオビン ジェyson さん | 大阪府 大阪桐蔭高校出身

私が陸上競技の世界に入ったのは中学生の時でした。最初は誘われたからという理由で砲丸投げを始めましたが、どんどのめり込んでいき、大学でも本格的に競技を続けていくまでになりました。

福岡大学に入学した理由は、男子砲丸投げ元日本記録保持者である野口安忠先生に指導してもらいたいと考えたからです。さらに、福岡大学の陸上競技部は短距離、跳躍、投擲の先生方が元日本記録保持者であり、どの種目でも日本トップレベルの指導をしてもらえることも魅力です。他にも公式の陸上競技場や、さまざまなマシンや高重量も扱えるフリーウエイトなどが完備されているトレーニング室など施設が充実しており、質の高いトレーニングができることも理由の1つです。私はこういった素晴らしい環境でトレーニングを続けることで、全日本インカレで優勝することができ、U20日本最高記録を樹立することができました。

今後の私の目標は世界で活躍できる選手になり、砲丸投げをもっと多くの人に知ってもらうことで、陸上競技に恩返しをしていくことです。

バレーボール



これまでの成績

- 第69回 全日本バレーボール大学女子選手権大会 第3位
- 第70回 全日本バレーボール大学女子選手権大会 第3位

松本 じゅり さん | 兵庫県 神戸常盤女子高校出身

私は小学校4年生の時に友人から誘われてバレーボールを始めました。高校では、3年間の集大成である最後の年にコロナ禍の影響で多くの大会がなくなり、全国大会へつながらず最後の大会である春高予選では決勝で負け、悔しい経験がたくさんありました。

この悔しさを糧に、大学では全国大会で活躍し日本一になるため、過去には全日本インカレ準優勝という成績を持ち九州上位である福岡大学に入学しました。バレーボール部(女子)では、今年も日本一を目指し日々の練習、トレーニングに取り組んでいます。トレーニングルームは充実した設備が整っており、体育館も広く練習に思いっきり打ち込むことができる環境です。先輩、後輩も仲が良く、どんな練習に対しても声をかけ合い全員が一生懸命で覇気のある練習を心がけています。

昨年の全日本インカレでは3位という結果を残すことができ、大きな感動や喜び、支えてくださった方々への感謝の気持ちを改めて実感することができました。今年もチーム全員が一丸となり「応援されるチーム」として日本一になれるように頑張ります。

柔道



これまでの成績

- 全日本学生女子52kg級 第3位

中嶋 涼葉 さん | 福岡県 南筑高校出身

私は、幼い頃に父の柔道の試合を見に行く機会が多くあり、そこで興味を持ち、小学校1年生の時に柔道を始めました。

福岡大学に入学した理由は、オリンピックメダリストである日下部監督の下で、地元福岡で日本一を目指して頑張りたいと思ったからです。

本学柔道部(女子)では、自主性を大切に、稽古やトレーニングに励んでいます。一人一人が考えながら自主的に練習に取り組むことで、試合中も状況に応じて動くことができていると感じます。また、道場だけでなくトレーニングルームなど整った施設環境で柔道に取り組めることも魅力です。今年の目標は5人制・7人制ともに団体戦でベスト4以上に入賞することです。日頃から応援して下さる方々への感謝を忘れず、結果で恩返しができるよう、チーム一丸となり頑張っています。

個人目標としては、全日本学生で優勝して全日本強化選手に選出されることです。昨年の3位は悔しかったですが、全国大会でも戦えるという自信にも繋がったので、今までよりも日本一になるために頑張りたいと強く思うきっかけになりました。昨年の経験を今年の結果に繋げられるように努力します。

サッカー



これまでの成績

- 第7回全日本大学サッカー新人戦 準優勝

川副 泰樹 さん | 熊本県 大津高校出身

サッカーを始めたきっかけは、3歳上の兄がサッカーをしていて、自然と一緒にサッカーをする環境があり、3歳ぐらいには既にボールを蹴っていたのを覚えています。福岡大学に入学した理由は、父母と兄が福岡大学スポーツ科学部出身で様々な良さを聞いていたことと、サッカーでの自分の武器である守備力をプロの世界でも通用するものへと成長させることができると思ったからです。

サッカー部は、毎年のように「リーガー」を輩出していて、「全国ベスト4」を掲げ、日々高い意識で厳しい練習をしています。部署制度(成長戦略部や総務部の活動)などを通して、人間力の向上にも努めており、サッカー部員が選手としてだけでなく、部署の一員としてサッカー部のために活動しています。

新人戦では、全国準優勝することができました。私自身、トップチームでの出場があまりないにも関わらず、キャプテンを任せられました。チームが同じ方向を向くように全体を見て声をかけ続け、その中で個人としてもチームとしても成長することができた大会になったと思います。

今年の目標は、個人としてはスタメンを勝ち取り、チームとしては3年連続九州リーグ無敗優勝と全国ベスト4を目指したいと思います。応援よろしくお祈りします。

「スポーツ科学部」に入学したら？

福岡大学スポーツ科学部に入学した学生(2023年度入学)に対して下記の内容で、アンケートを行いました。(2023年新入生アンケートの結果より)

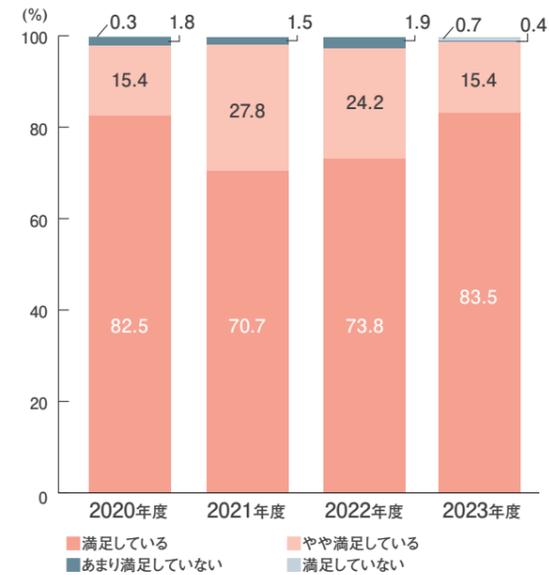


| | | | |
|--------------------------|--------------------|----------------------------|----------------------------|
| 大学・学部・学科への満足度は？ とても高い | 進学理由は？ 将来の準備を行う | 卒業後の進路は？ 何らかのイメージを持っている | 将来の職業イメージは？ 教員・一般企業・公務員 |
|--------------------------|--------------------|----------------------------|----------------------------|

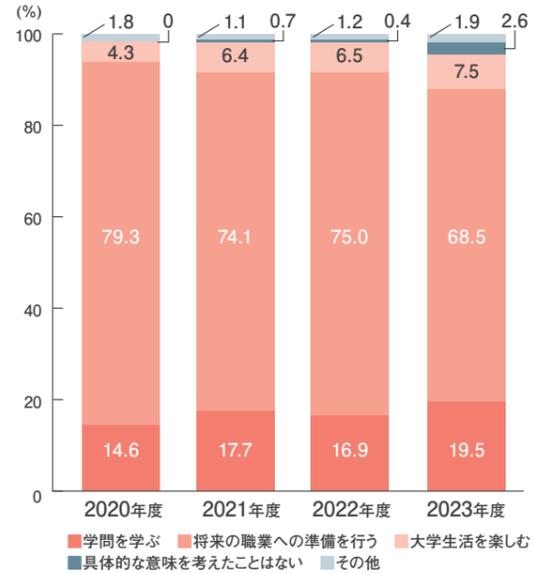
Q1 あなたにとって、福岡大学への進学は満足いくものでしたか？



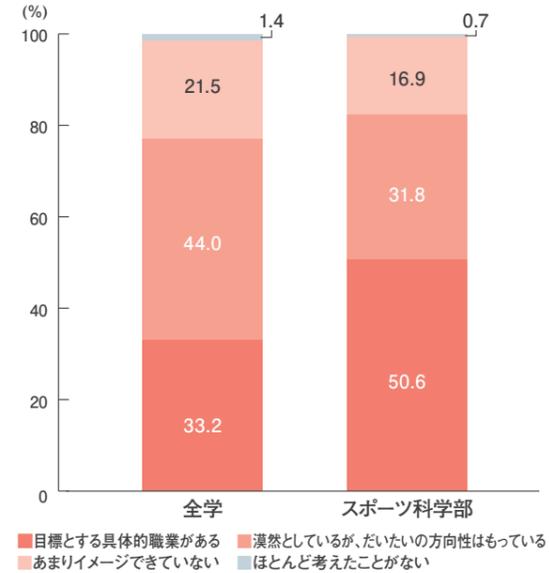
Q2 あなたにとって、自分が所属する学部・学科への入学は満足いくものでしたか？



Q3 あなたにとって、大学で学ぶことはどのような意味を持ちますか？



Q4 現在、自分が将来就きたい職業について、どのようなイメージがありますか？



スポーツ科学を極める！～学部から大学院へ～

「スポーツを科学的に捉え、専門性を高める」ことが、将来の目標を達成する。
「スポーツ」の持つ多様性を生かして、自身も成長する。



スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻は、運動、スポーツ、レクリエーション、レジャー、体育、健康、福祉等を対象として学問の深化を図り、健康長寿社会の実現に貢献し、高度なスポーツ知を拓くことを教育理念としています。

博士課程前期では、競技スポーツ・学校体育・地域スポーツ・医療等の指導現場において高度な知識と技術を基盤とした科学的指導を実践・応用できる専門家の養成を行います。

博士課程後期では、健康増進を目的とした処方、あるいは疾病や傷害の治療・予防・再発防止を目的とした処方、また、アスリートから幼児や高齢者に至るまでを対象として体力・スポーツパフォーマンス向上を目的とした処方などに関する研究を行います。

そして、これらの専門領域において、自立して研究活動を行うことができる研究者を養成します。



■Voice ※取材の内容は2022年取材時のものです。

日常生活や競技生活をより豊かにしたい



中村 泰志 さん
スポーツ健康科学研究科
博士課程前期 2023年修了

私は、早期履修制度を利用し、学部と大学院を掛け持ちする形で大学院に進学しました。私が大学院に進学した理由は、幼い頃から携わっているスポーツの専門的な知識を身に付け、周りの人や自分自身の競技生活、健康的な生活をより豊かにしたいと思ったからです。

[在学中の取り組み]

在学中は糖代謝に興味があり、運動が糖取り込みを上昇させるメカニズムを解明することを目的として研究を行っていました。大学院での生活は、マウスを解剖したり、全国学会に参加したり、大学に泊まりがけで実験したりと、初めての経験ばかりで刺激的な日々を送らせていただきました。自分の専門分野だけではなく、スポーツ・健康に関すること全般の知識を深めることができ、本当に多くの学びを得た大学院生活になりました。大学院修了後は社会人として働きますが、大学院で学んだことを生かして良い社会人になれるよう取り組んでいます。

[後輩へのメッセージ]

本研究科は、研究をするにあたっての充実した設備・環境が整っており、自分のやりたい研究が思う存分できる場所です。大学院は決して楽なところではありませんが、仲間たちと切磋琢磨しながら成長できる良い機会だと思います。ぜひ興味のある人は進学を検討してみてください。

糖尿病の予防・治療に貢献するために



周 桐竹 さん
スポーツ健康科学研究科
博士課程前期 2023年修了

私の大学での専門は看護で、病院で実習していた時、糖尿病に興味を持ちました。専門知識を身につけ、糖尿病の予防・治療に貢献できるようになるため、大学院に進学しました。

[在学中の取り組み]

現在はスポーツ健康科学研究科の分子栄養学研究室で、不活動により生じたインスリン抵抗性のメカニズムを解明することを目的として実験動物を用いて、研究を行っています。本研究科は、海外の大学との共同研究や、自身の研究を海外で発表する機会も多くあり、多方面の能力を向上させることができます。また、最先端研究論文の内容を理解した上で、スライドを作成して週一回行われている抄読会で発表し、先生方、学生たちからの質問に対応します。これによって言葉の表現能力および短時間で回答する反応能力を高めることができます。さらに、現場では高齢者の健康づくりのため、運動指導も実践しています。

[後輩へのメッセージ]

大学院は専門知識の学習だけでなく、実践能力および思考ロジック能力の向上にも役に立つと思います。興味がある方はぜひ進学してスポーツ健康科学研究科で活動することを期待しています。

トップアスリート紹介



トップアスリートリスト

団体の部 (全国大会3位以上)

| | | | |
|-----------|--|------------------------------------|-----|
| ソフトテニス部 | 大年優吾、松浦蒼、永江孝二郎、小宮山建、源川大暉、中村翔太 | 第43回全日本大学ソフトテニス王座決定戦 男子団体戦 | 第2位 |
| | 大森乃愛、西村麻央 | 第43回全日本大学ソフトテニス王座決定戦 女子団体戦 | 第2位 |
| なぎなた部 | 落合凜星、玉村純鈴、平田華代、内田優、益子愛奈 | 第62回全日本学生なぎなた選手権大会 女子団体試合競技 | 第3位 |
| ソフトボール部男子 | 溝口裕大、菊永晟行、永見健太郎 | 第58回全日本大学男子ソフトボール選手権大会 | 第3位 |
| 陸上競技部 | 伊藤彩香、森山静穂、田島美春、城戸優来 | 第92回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子4×100mリレー | 第2位 |
| | 高野七海、森山静穂、城戸優来 | 第92回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子4×400mリレー | 第2位 |
| | 伊藤彩香、森山静穂、田島美春、城戸優来 | 第107回日本陸上競技選手権大会 リレー競技 女子4×100mリレー | 第2位 |
| | 高野七海、城戸優来、田島美春、森山静穂 | 第107回日本陸上競技選手権大会 リレー競技 女子4×400mリレー | 第1位 |
| サッカー部 | 緒方要、坂本翼、川副泰樹、坂井悠飛、岩本剛気、和田哉輝、芳野肌斗、竹田天馬、中山桂吾、合戸晴矢、福田秀人、和田理央、北健志郎、殿岡通来、吉本空雅、香西銀二郎、ディアロ航、平井佑亮、山田陽介、吉川獅子心、前田竜之介、森部圭汰、正法地大、岩熊唯斗、藏屋明徹 | 第7回全日本大学サッカー新人戦 | 第2位 |
| バレーボール部女子 | 川添美優、大橋花音、宮本夢彩、疋田美晴、川満愛優、内川成美、松本じゅり、園増亜矢子、園田悠華、袴田優可、幸喜佳菜、道永菜瑚 | 第70回全日本バレーボール大学女子選手権大会 | 第3位 |

個人の部 (全国大会3位以上)

| | | | |
|----------------|----------------------------|--|-------------|
| 陸上競技部 | 城戸 優来 | 第92回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子200m | 第3位 |
| | 高野 七海 | 第20回田島直人記念陸上競技大会 女子400mH | 第3位 |
| | | 2023日本学生陸上競技個人選手権大会 女子200m、400m | 第3位、第2位 |
| | 森山 静穂 | 第20回田島直人記念陸上競技大会 女子200m | 第2位 |
| | | 第92回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子200m、400m | 第1位、第1位 |
| | 宮原 なな佳 | 第92回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子10000m | 第2位 |
| | 田島 美春 | 第36回南部忠平記念陸上競技大会 女子200m | 第3位 |
| | 伊藤 彩香 | 2023日本学生陸上競技個人選手権大会 女子100mH | 第1位 |
| | 花谷 そら | 2023日本学生陸上競技個人選手権大会 男子3000m sc | 第3位 |
| | | 第92回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子3000m障害 | 第3位 |
| | 有村 拓巳 | 布勢スプリント2023 男子走幅跳 | 第3位 |
| | 菅野 翔太 | 第39回U20日本陸上競技選手権大会 男子三段跳 | 第3位 |
| | 中尾 優花 | 第36回南部忠平記念陸上競技大会 女子走幅跳 | 第1位 |
| | 中村 和花 | 第39回U20日本陸上競技選手権大会 女子三段跳 | 第3位 |
| 日夏 涼香 | 2023日本学生陸上競技個人選手権大会 女子砲丸投 | 第3位 | |
| 東海林 慎也 | 第39回U20日本陸上競技選手権大会 男子砲丸投 | 第3位 | |
| 佐野 陽菜 | 第39回U20日本陸上競技選手権大会 女子ハンマー投 | 第3位 | |
| アツオビンジェイソン | 第36回南部忠平記念陸上競技大会 男子砲丸投 | 第1位 | |
| | 第92回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子砲丸投 | 第1位 | |
| モーターボート・水上スキー部 | 鈴木 大智 | 2023年全日本学生水上スキー選手権大会チャンピオンシリーズ 第1戦 男子スラローム、第2戦 男子スラローム | 第1位、第1位 |
| | | 全日本水上スキー選手権大会 U21男子スラローム | 第1位 |
| 柔道部 | 長友 亮 | 2023年全日本学生水上スキー選手権大会チャンピオンシリーズ 第1戦 男子スラローム、男子トリック、第2戦 男子個人総合 | 第2位、第2位、第2位 |
| | 大野 萌亜 | 2023年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 女子57kg級 | 第3位 |
| | 中嶋 涼葉 | 2023年度全日本学生柔道体重別選手権大会 女子52kg級 | 第3位 |
| | 大浦 圭弥 | 2023年度全日本学生柔道形競技大会(第2回) 固の形(取) | 第3位 |
| | 名村 慶太 | 2023年度全日本学生柔道形競技大会(第2回) 固の形(受) | 第3位 |

個人の部 (国際試合等対象選手一覧)

| | | | | |
|---------|------------|------------|------------------------|------|
| サッカー部 | 坂井 悠飛 | U19全日本大学選抜 | 第45回アンジェロ・ドッセーナ国際ユース大会 | 第1位 |
| 陸上競技部 | アツオビンジェイソン | | アジア投擲選手権大会 | 第2位 |
| サッカー部 | 中山 桂吾 | U20全日本大学選抜 | アジア大学サッカートーナメント | 優勝 |
| サッカー部 | 重見 征斗 | U22日本代表 | 第19回アジア競技大会 | 第2位 |
| ハンドボール部 | 細田 啓輔 | | 第24回男子ジュニア世界選手権 | 第19位 |

夢に向かって頑張れば
道はきっと開ける!

永井 謙佑 選手

名古屋グランパス所属

2011年 スポーツ科学部卒業
(福岡県 九州国際大学付属高校出身)

■2012年 ロンドンオリンピック 日本代表

サッカーは、レベルが高い環境で学べば、レベルアップができるところが魅力です。福岡大学は、人工芝のグラウンドやトレーニングルームなど設備環境がある上、しっかりとした指導者のおかげで、栄養についてのコンディショニングやパフォーマンスの向上など多くを学ぶことができるのが魅力です。

また、サッカー部では海外に行く機会が多い中、副キャプテンを務めていました。部員全員、仲が良く素晴らしいチームだったと思っています。最高の環境が整った福岡大学は、夢を達成させるには申し分ない環境です。自分の夢に向かって頑張れば、必ず道が開けるはず。自分を信じて突き進んでください。

夢へと続く一本道を
一意専心の努力で
つかみ取る。

梅野 隆太郎 選手

阪神タイガース所属

2014年 スポーツ科学部卒業
(福岡県 福岡工業大学附属城東高校出身)

■2021年 東京2020オリンピック 日本代表
■2023年 プロ野球オールスターゲーム 出場

高校卒業時点では、自分の納得のいく体ができているため、4年間で体をつくって実績を積みたかと思っていました。そんな思いを胸に福岡大学に進学しました。福岡大学の4年間は、小さい頃から抱えてきたプロ野球選手という夢を叶えるための4年間でした。体と心を鍛える努力一色の日々でしたが、諦めずに進んできた自分を誇りに思います。

また、大学時代には、トップアスリートを目指すばかりの寮で暮らしていました。競技は違っても同じ志を持っている仲間と励まし合いながら、自分のペースで自由に学ばせてもらえる環境がありがたかったです。

スポーツ科学部の授業では、プロ野球選手の先輩である渡邊正和先生に教わるために「卒業研究論文」を履修しました。自分も経験したドラフト会議をテーマに卒業研究論文を作成し、プレゼンテーションで精神力も養えました。

“ヨネクラ”を武器に
世界の頂点を目指す。

米倉 英信 選手

徳洲会体操クラブ所属

2020年 スポーツ科学部卒業
(岡山県 関西高校出身)

■2018年・2019年 全日本学生体操競技選手権大会二連覇
■2018年 全日本体操種目別選手権 跳馬 優勝
■2019年 自身が発表した技が「ヨネクラ」と命名
■2021年 世界体操競技選手権大会 跳馬2位

5歳の時に福岡市のクラブで体操をはじめ、中学時代は全国大会に出場、高校は岡山にある強豪門校・関西高校に進学しました。高校時代は得意種目であった跳馬での優勝を狙える機会がありましたが、いずれも準優勝に終わっていました。さらなる競技力向上を求めて、父親の母校でもあった地元の福岡大学への進学を決めました。大学では、スポーツや身体に関する授業も多く、興味深く授業に取り組みました。また、もともと歴史が好きだったこともあり、スポーツ史の授業は楽しく、勉強する楽しさも味わうことができました。

大学2年次生の頃に、種目別で日本代表が狙えるようになり、「跳馬一本で五輪を目指す」という目標ができました。跳馬に関しては日本一練習してきたと思うくらい福岡大学で競技に打ち込むことができました。そのおかげで、2018年の全日本選手権では跳馬で優勝、初めて日本一になることができました。福岡大学を選んで本当に良かったと思っています。現在は神奈川県にある徳洲会体操クラブに拠点を移し、練習に取り組んでいます。大学4年間では、うまくいかない時もあると思いますが、諦めず目標を持って頑張ります。

スポーツで
必要となる学問が
実践に生きてくる!

中村 匠 選手

豊田合成ブルーファルコン所属

2019年 スポーツ科学部卒業
(福岡県 福岡魁誠高校出身)

■ハンドボール日本代表
■2018年 世界学生選手権大会(クアアチア)3位
■2023年 日本ハンドボールリーグ MVP
■2023年 パリオリンピック男子アジア最終予選優勝 (オリンピック出場権獲得)

私が福岡大学に進学した理由は、当時の福岡魁誠高校の恩師が福大出身の方であり、高いレベルでハンドボールができると薦めていただいたからです。入学したスポーツ科学部は、スポーツをする中で必要となる生理学、栄養学、スポーツバイオメカニクス、体力学などの身体の仕組み、動かし方、トレーニングなどを詳しく学ぶことができ、実践に生かせるという点も魅力的でした。ちなみに私は公衆衛生学の研究室で学びました。大学時代は4年次の全日本インカレで準優勝することができました。現在は豊田合成ブルーファルコンに所属しており、2021年度日本選手権優勝、大会MVPに選んでいただきました。また、2021年3月には、国内最高峰である日本ハンドボールリーグプレーオフで2連覇をすることができました。今日、日本代表選手として活動できているのは、福大で学んだあらゆることにつながったことと実感しています。

皆さんもこれから先辛いことがあると思いますが、必ず乗り越えられると思います。共に頑張ります!

スポーツ科学部Q&A

Q 競技の情報などはどこで調べられますか？

A 専用HPを開発しています。
詳しい試合状況、競技情報など閲覧できるスポーツ科学部専用HPがあるので、ぜひチェックしてみてください。
福岡大学公式HPの学部サイトからもリンクしています。



Q スポーツの競技力向上はどんな方法で、どこで目指せますか？

A ほとんどの学生は運動クラブに所属し、実践的トレーニングをクラブで行い、競技大会等に出場し、競技力向上を図っています。科学的知識は講義やコーチ法演習およびゼミで講義形式・演習形式(理論と実技)あるいは実験形式で学びます。したがって競技力向上は授業で得られた知識を運動クラブの実践でいかに生かすかが重要になります。

Q 大学院ではどんなことが学べますか？

A 大学院博士課程前期では、体育学、体力学、スポーツ医学、体育科教育学、コーチ学、運動健康学の6専修が設けられており、体育・スポーツ・健康運動の高度な知識・技術をもとに社会が必要とする科学的指導を実践・応用できる専門家を養成し、後期課程では、専門的な領域で自立して研究活動を行える研究者の養成を目的としています。

Q 就職・進路に対するサポート体制について詳しく教えてください。

A より良い進路・就職選択をするために、3・4年次になって初めて悩むのではなく、自らの将来に向かって計画的に大学生活を過ごすことが肝要です。スポーツ科学部では、その選択について早い段階から意識を持って取り組むよう次のような支援を行っています。

インターンシップ

8月から9月の夏季休暇中に、企業・団体等を受け入れ先としたインターンシップを実施しています。現地の実習・就業体験を通して、日頃の学修の成果を確かめながら、各種の職種、職業適性への理解を深められるように行っています。

進路ガイダンス

進学・就職に対する基本的な活動方法から、就職試験で大きなウエイトを占める面接試験対策のための「模擬面接会」や「対策講座」。各職場の本学卒業生を講師に招いて「業界説明会」などでアドバイスします。こうしたガイダンスを通じて情報の提供を含め、進路実現に向けてサポートしています。

個人面談(ヒアリング)

一人一人の進学に関するさまざまな悩みや就職活動の疑問、不安を解消し、よりスムーズにできるように、アドバイスを行っています。
その他に、キャリアセンター主催の「キャリア形成支援講座」などの多彩なプログラムへの参加利用ができます。

Q 取得できる資格等について詳しく教えてください。

取得できる免許・資格について

- 中学校・高等学校保健体育教諭一種免許
- 健康運動指導士
- 健康運動実践指導者
- 日本スポーツ協会公認ハンドボールコーチ1
- 日本スポーツ協会公認水泳コーチ1・3
- 日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者
- JPSU公認スポーツトレーナー(認定試験受験資格)

日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者養成講習・試験(共通科目I・II・III)免除

- スポーツ指導基礎資格(スポーツリーダー)
 - 競技別指導者資格(指導員、上級指導員、コーチ、上級コーチ、教師、上級教師)
 - フィットネス系資格(ジュニアスポーツ指導員、スポーツプログラマー)
 - マネジメント指導者資格(アシスタントマネジャー、クラブマネジャー)
- キャンプインストラクター
 - レクリエーションインストラクター
 - 初級障がい者スポーツ指導員(資格申請により認定)

Q 授業の様子を教えてください。

A 本学部では、優れた運動技能やスポーツ経験を持つ学生たちが、医学・科学的な知識を「理論知」として学び、スポーツを実践する中で得た経験や感覚を体系化する「実践知」を学び、スポーツを論理的に教えらるるチカラが身に付くような教育を行っています。

